

市の財政状況

27年度
決算状況を
公表します
問合せ
財政課
☎(740) 1130

一般会計は、基金から6億7000万円を繰り入れるなどして4億7000万円の黒字となりました。特別会計も、全体で5億9000万円の黒字でした。
一般会計の決算規模は、昨年度と比べて大幅に増えています。
この増加は、学校・公民館の耐震化や防災行政無線の整備など防災・減災関連の事業や、キセラ川西や新名神周辺での都市基盤整備などの大きな事業によるものです。
また、障害者福祉、生活保護、子育て、医療などの社会保障関係で事業費が増加した他、プレミアム付商品券の発行や臨時福祉給付金の給付などの国の経済対策による事業費も増加しています。

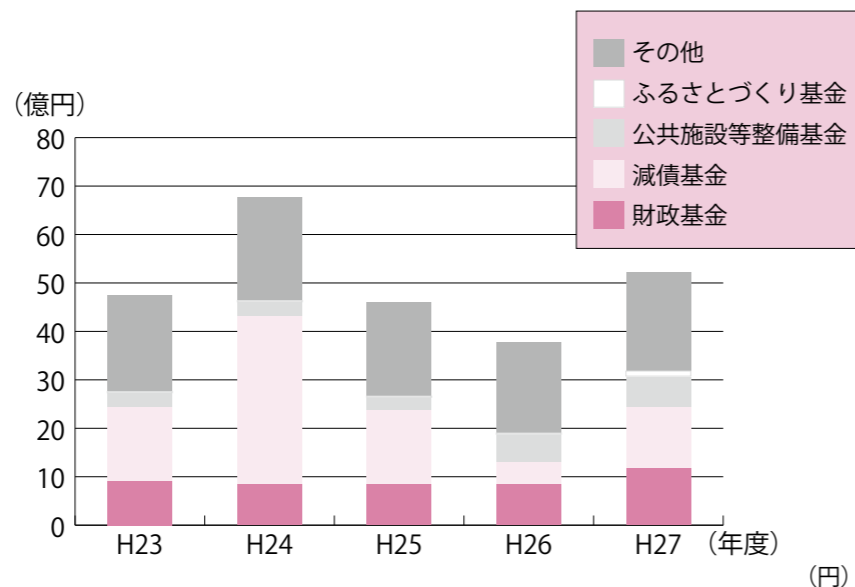
主な基金残高の推移

▶基金残高は臨時的な収入を積み立てたため、総額が前年の1.4倍となった。

財政基金とは？ 想定外の支出に備えるなど、健全な財政運営のための積立金。

減債基金とは？ 市債返済の財源とするための積立金。

公共施設等整備基金とは？ 公共施設整備の財源とするための積立金。



	H23	H24	H25	H26	H27
財政基金	9億990万	8億3,427万	8億3,574万	8億3,595万	11億6,616万
減債基金	15億1,724万	34億7,252万	15億2,812万	4億7,281万	12億6,669万
公共施設等整備基金	3億1,114万	3億1,124万	2億7,135万	5億7,155万	6億4,298万
ふるさとづくり基金	918万	1,621万	1,987万	2,449万	1億173万
その他 (特別会計分含む)	19億9,660万	21億3,951万	19億4,636万	18億7,774万	20億4,434万
年度末 現在高合計	47億4,405万	67億7,376万	46億144万	37億8,253万	52億2,190万



歳入歳出の決算状況

区分	歳入決算額 (1)	歳出決算額 (2)	歳入・歳出 差引額 (3)=(1)-(2)	翌年度に 繰り越すべき 財源(※) (4)	実質収支額 (3)-(4)
一般会計	562億1,442万	556億8,151万	5億3,292万	6,363万	4億6,929万
特別会計	204億9,295万	201億2,263万	3億7,032万	0	3億7,032万
国民健康保険事業	26億8,627万	26億1,028万	7,600万	0	7,600万
後期高齢者医療事業	831万	831万	0	0	0
農業共済事業	113億 97万	111億6,120万	1億3,977万	0	1億3,977万
介護保険事業	38億 920万	38億 912万	8万	8万	0
用地先行取得事業	22億9,625万	22億4,980万	4,645万	4,645万	0
中央北地区 土地区画整理事業					

(注)端数処理のため、各項目の差引額の数値が一致しない場合があります(以下の表についても同じ)
※27年度に収入済みのもののうち、28年度に繰り越す事業に充てるための財源

一般会計の決算規模と収支状況

区分	歳入決算額 (1)	歳出決算額 (2)	歳入・歳出 差引額 (3)=(1)-(2)	翌年度に 繰り越すべき 財源(※) (4)	実質収支額 (3)-(4)
27年度	562億1,442万	556億8,151万	5億3,292万	6,363万	4億6,929万
26年度	500億3,980万	494億9,063万	5億4,917万	1億1,323万	4億3,594万
増減額	61億7,463万	61億9,088万	△1,625万	△4,960万	3,335万
増減率	12.3%	12.5%	△3.0%	△43.8%	7.7%

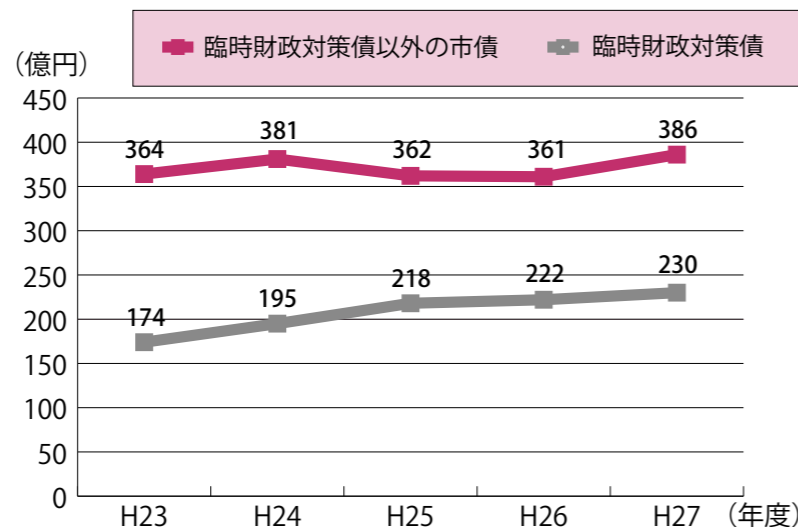
※27年度に収入済みのもののうち、28年度に繰り越す事業に充てるための財源

市債残高の状況

▶公共施設の耐震化、都市基盤整備の財源としての市債が増加。臨時財政対策債も増加した。

市債とは？ 公共施設などの整備を行う費用の財源として、資金を借り入れるもの。それにより多額の資金調達や、世代間で負担の公平性が確保できる。

臨時財政対策債とは？ 公共施設などの整備目的ではなく、地方交付税の代わりとして、例外的に借り入れができる市債。



財政状況 今後の見通し

健全な財政運営をめざして
本市の歳入については、市民税・固定資産税などの市税は、今後も増収が期待できない状況が続く。歳出では、医療・介護やその他の社会保障に係る費用が今後増加していくことが予想されます。
一方で、過去に借り入れた市債の償還がピークを過ぎ、公債費(借入金の毎年の返済額)は、今後、減少する見込みです。このため、より効率的な行政運営に努めることで、歳出の増加を抑制していくものと考えています。
これからも、本市が総合計画に掲げる「市民の幸せの実現」をめざしつつ、さらに効率的・効果的な事業の推進に努め、収支のバランスが取れた健全な財政運営に取り組んでいきます。
なお、ここで紹介した決算の概要の他、「歳入歳出決算書」や決算の分析などをまとめた「決算成果報告書」を、市役所2階の市政情報コーナーと市ホームページで公開しています。詳しくは財政課へ。

一般会計 歳入歳出の内訳

解説 POINT!

- ▶市税全体では、26年度とほぼ同水準。主な税のうち固定資産税は減少している…①
- ▶都市基盤整備の財源として、市債を発行…②
- ▶地方消費税交付金は、26年4月の消費税税率改定の影響で、大幅に増加。これは、今後増えていく社会保障経費の財源となるもの…③
- ▶ふるさとづくり寄附金では、前年度の約9倍となる1.4億円の寄付があり、大幅な増額となった…④
- ▶27年度主要事業：都市基盤整備(キセラ川西整備、新名神周辺整備、道路安全灯LED化など)…⑤、防災・減災対策(学校・公民館耐震化…⑥、防災行政無線整備…⑦など)、健康施策(かわにし健幸マイレージの充実など)…⑧

